

市内民間事業者による資源回収量の調査結果（令和元年度実績）について

◎調査について

岩倉市における資源化率（※）は近年下がる傾向にあり、これは民間での自主回収の実施や回収拠点の設置が進んでいることが主な要因として考えられる。実際の市民からの資源排出量は市で把握している数量（公共分）よりも多いことが推測され、平成 29 年度から市内の民間事業者の協力を得ながら資源回収量の調査を実施している。なお、民間事業者が回収する資源には、岩倉市以外の住民のものや事業者から出されたものも混ざっていると思われるため、得られた数値については資源化率の算出には用いず、参考値として取り扱うものとしている。

※資源化率：（収集資源物＋集団回収量）／（収集ごみ量＋収集資源物＋集団回収量）

①令和元年度の資源回収量（公共分） 資源化率 22.35%

(単位：kg)

	新聞	雑誌・雑がみ	段ボール	古着	ペットボトル	アルミ缶	スチール缶	びん類	牛乳パック	計
R1 年度回収量	432,535	332,185	210,640	106,395	55,220	31,131	40,290	189,552	9,728	1,407,676
30 年度回収量	456,490	331,755	199,368	109,861	55,230	26,982	39,330	198,472	8,691	1,426,179

②令和元年度の市内民間事業者による資源回収量調査数値

(単位：kg)

	新聞	雑誌・雑がみ	段ボール	古着	ペットボトル	アルミ缶	スチール缶	びん類	牛乳パック	計
R1 年度回収量	563,795	351,385	292,395	75,916	19,782	11,634	2,150	3,770	5,824	1,326,651
30 年度回収量	508,202	337,081	228,737	31,400	52,270	11,975	4,256	12,451	5,237	1,191,609

③公共分と調査数値を合わせた回収量（①＋②）

(単位：kg)

	新聞	雑誌・雑がみ	段ボール	古着	ペットボトル	アルミ缶	スチール缶	びん類	牛乳パック	計
R1 年度回収量	996,330	683,570	503,035	182,311	75,002	42,765	42,440	193,322	15,552	2,734,327
30 年度回収量	964,692	668,836	428,105	141,261	107,500	38,957	43,586	210,923	13,928	2,617,788

④平成 18 年度の資源回収量（公共分） 資源化率 31.31%（平成 18 年度は資源化率が最も高かった年度）

(単位：kg)

	新聞	雑誌・雑がみ	段ボール	古着	ペットボトル	アルミ缶	スチール缶	びん類	牛乳パック	計
18 年度回収量	1,625,665	738,565	399,260	191,630	65,070	43,037	61,530	284,610	20,357	3,429,724

⑤市内民間事業者による資源回収量調査数値を含めた場合の資源化率（参考値）

	資源化率
R1 年度	31.35%
30 年度	30.83%

※なお、第 5 次岩倉市一般廃棄物処理計画（2019（平成 31）年度～2028（令和 10）年度）資源化目標については、資源化率（公共分）23.71%を目指すこととしている。

【留意事項】

- ③の回収量が④の回収量よりも減少しているのは、新聞・雑誌等の紙媒体の減少や容器類の軽量化（びんからペットボトルへの変更等）などが要因として考えられる。
- 公共分のみでの比較では年々低下しているように見える資源化率については、民間の資源回収量の調査数値を含めて算出すると 30%を超え、市民全体としての資源排出の状況は、平成 18 年度から大きな変化がないことが推測される。